

令和2年度 現地検討会実施状況

(森林整備における低コスト化の推進)

10

国有林	122
自治体	71
森林所有者	7
事業体	71
研究機関	3
その他	33
合計	307

307

検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真
低コストで効率的な施業の推進に係る現地検討会	8月25日	十勝西部森林管理署	清水町（国有林40林班）	国有林 21名	低コストで効率的な施業の実践について理解を深めてもらうこと	大型機械による地拵と成長の早い苗木にすることによる低コスト施業の現地を直接見てもらい、関係者間で意見交換を行った。	
				自治体 2名			
				森林所有者 1名			
				事業体 10名			
				研究機関 1名			
				その他 11名			
				合計 44名			
現地での意見交換							
効率的な造林作業に向けた意見交換会	8月31日	十勝総合振興局森林室	幕別町大坂林業	国有林 4名	・造林業者と種苗生産者における、効率的な造林作業に向けて相互の連携強化のため。 ・現状の改善や一般民有林へのコンテナ苗普及のため	造林業者・種苗業者ともに労働力が不足しており、現状のままでは、適切な森林整備への支障が危惧されるため、事業発注者を含めた中で、コンテナ苗の受渡しやコンテナ苗の保存から抽出にかかる現状を認識し、問題点等の解決を図るための意見交換を行った。	
				自治体 8名			
				森林所有者 1名			
				事業体 8名			
				研究機関 1名			
				その他 1名			
				合計 20名			
下刈（高足刈）現地検討会	9月1日	檜山森林管理署	木古内町（国有林）	国有林 21名	造林初期コストの中でも大きなウエートを占める下刈作業のコスト削減・軽労化が期待できる「高足刈」の紹介と普及・定着を図ること	下刈作業のコスト削減・軽労化の技術提案として、森林技術・支援センターが実証試験を行ってきた「高足刈」について、森林技術・支援センターの全面協力のもと「下刈（高足刈）現地検討会」を開催。 検討会では、「高足刈」の試験内容と研究成果を説明紹介するとともに、実際の下刈現地において、通常の地際での下刈と簡略方式である高足刈りとの比較を行い、作業の負担軽減等に寄与する高足刈りの有効性への理解を促した。 意見交換では、高足刈りでの「植生の変化」や「成長への影響等、技術的な質問が多く出され、森林技術・支援センターと当署から丁寧な説明を行った。	
				自治体 7名			
				森林所有者 1名			
				事業体 15名			
				研究機関 1名			
				その他 18名			
				合計 62名			
現地検討会の様子							

令和2年度 現地検討会実施状況

(森林整備における低コスト化の推進)

カラマツ天然更新試験地説明会	9月16日	上川南部森林管理署 (森林技術・支援センター協力)	南富良野町(国有林3林班)	国有林	12名	国有林に低コスト再造林に係る情報提供と天然更新技術の普及を図るため	・市町村森林整備計画実行管理推進チーム構成員に対して、平成27年にカラマツを幅40mで帯状伐採し、その後、工夫をこらした地がきを行い、天然更新を促した箇所の5年後の状況を説明し、天然更新させるために必要な因子等について意見交換を行った。 ・昨年度の調査では、国有林の天然更新基準は満たしたものの、北海道の更新完了基準は満たしていなかった。今年度の調査では、北海道の更新完了基準も満たした。	 <p>天然更新を促した箇所での説明</p>
				自治体	21名			
				森林所有者	2名			
				事業体	8名			
				研究機関	3名			
				その他	名			
				合計	46名			
令和2年度 地域課題の解決に向けた現地検討会	10月2日	根釧東部森林管理署	別海町(民有林82林班37小班)	国有林	13名	地域課題である人手不足に対する民有林の現状と取り組み状況について、紹介をしていただき情報共有を図り、今後の課題解決に向けた取組を進めるため	別海町森林組合の現状を紹介していただくとともに、小型ハーベスター及びリモコン式草刈り機を活用した施業を現地で見ていただき、その後、出席者で意見交換を行った。	 <p>小型ハーベスターの作業を見学</p>
				自治体	0名			
				森林所有者	0名			
				事業体	4名			
				研究機関	0名			
				その他	0名			
				合計	17名			
令和2年度 ねむろ森林づくり交流会	10月20日	根室振興局森林室 根釧東部森林管理署	別海町(民有林82林班32小班)	国有林	4名	地域課題である人手不足に対する民有林の現状と取り組み状況について、紹介をしていただき情報共有を図り、今後の課題解決に向けた取組を進めるため	別海町森林組合の現状を紹介していただくとともに、小型ハーベスター及びリモコン式草刈り機を活用した施業を現地で見ていただき、その後、出席者で意見交換を行った。	 <p>リモコン式草刈り機の作業を見学</p>
				自治体	11名			
				森林所有者	4名			
				事業体	17名			
				研究機関	0名			
				その他	0名			
				合計	36名			

令和2年度 現地検討会実施状況

(森林整備における低コスト化の推進)

<p>コンテナ苗植栽体験会</p>	<p>10月27日</p>	<p>上川中部森林管理署</p>	<p>旭川市（国有林）</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>5名</td></tr> <tr><td>自治体</td><td>4名</td></tr> <tr><td>森林所有者</td><td>名</td></tr> <tr><td>事業者</td><td>5名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>14名</td></tr> </table>	国有林	5名	自治体	4名	森林所有者	名	事業者	5名	研究機関	名	その他	名	合計	14名	<p>一貫作業箇所におけるコンテナ苗植栽の国有林施業の紹介とコンテナ苗の植栽体験</p>	<p>一貫作業システムの導入による作業コスト縮減を目指しており、自治体等を招いての体験会を開催。カラマツコンテナ苗をエンジンオーガ、植栽クワ、ブランディングチューブ、ディブル、スペードを使つての植栽を体験。「一貫作業システムでの留意点は」との質問があり、当現場請負の林業事業者から回答するなど有意義な体験会。</p>	 <p>コンテナ苗の植栽を体験</p>
国有林	5名																				
自治体	4名																				
森林所有者	名																				
事業者	5名																				
研究機関	名																				
その他	名																				
合計	14名																				
<p>コンテナ苗植栽現地検討会</p>	<p>10月29日</p>	<p>網走中部森林管理署</p>	<p>北見市（国有林1031林班）</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>5名</td></tr> <tr><td>自治体</td><td>13名</td></tr> <tr><td>森林所有者</td><td>名</td></tr> <tr><td>事業者</td><td>名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>2名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>20名</td></tr> </table>	国有林	5名	自治体	13名	森林所有者	名	事業者	名	研究機関	名	その他	2名	合計	20名	<p>コンテナ苗の普及と植栽体験</p>	<p>コンテナ苗の特徴、メリット・デメリット、導入状況や植栽に使用する道具について説明した後、植付器具（エンジンオーガ・ディブル・スペード）を使用してコンテナ苗の植栽実演を行った。</p> <p>その後、参加者にはそれぞれエンジンオーガとディブルを使用して植栽体験してもらった。</p> <p>参加者からは「ディブルが素人でも植え付けやすい」「エンジンオーガは植穴の深さが難しい」等の意見があった。</p>	 <p>エンジンオーガを使用してコンテナ苗の植栽説明</p>
国有林	5名																				
自治体	13名																				
森林所有者	名																				
事業者	名																				
研究機関	名																				
その他	2名																				
合計	20名																				
<p>「低コストで効率的な造林作業の普及」の現地意見交換会、「無人航空機ドローン」活用と習熟訓練</p>	<p>11月4日</p>	<p>日高南部森林管理署</p>	<p>新冠町（国有林2164に林小班）</p>	<table border="1"> <tr><td>国有林</td><td>17名</td></tr> <tr><td>自治体</td><td>5名</td></tr> <tr><td>森林所有者</td><td>名</td></tr> <tr><td>事業者</td><td>2名</td></tr> <tr><td>研究機関</td><td>名</td></tr> <tr><td>その他</td><td>2名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>26名</td></tr> </table>	国有林	17名	自治体	5名	森林所有者	名	事業者	2名	研究機関	名	その他	2名	合計	26名	<p>大型機械地拵、植付と無地拵（枝条存置）における造林経費縮減に向けた取組みについて、理解を深めて頂くとともに、様々なご意見を頂きながら、更なる縮減を目指すため更に、新たなツールとしての活用幅が増えてきている「無人航空機ドローン」を紹介及び職員等の操縦の習熟を図るため</p>	<p>○「低コストで効率的な造林作業の普及」</p> <p>①大型機械地拵等と無地拵（枝条の存置）箇所の紹介</p> <p>②各種調査結果等の説明</p> <p>③現地意見交換の実施。</p> <p>○「無人航空機ドローン」活用と習熟訓練</p> <p>①活用事例紹介</p> <p>②ガイドライン</p> <p>③操縦の訓練</p>	 <p>現地での各種調査結果等の説明</p>
国有林	17名																				
自治体	5名																				
森林所有者	名																				
事業者	2名																				
研究機関	名																				
その他	2名																				
合計	26名																				

令和2年度 現地検討会実施状況

(森林整備における低コスト化の推進)

造林作業の省力化を目指した取組における現地検討会	11月11日	十勝東部森林管理署	足寄町（国有林307林班）	国有林	20名	これまで人力で行っていた下刈作業を大型機械にシフトし、造林作業の担い手不足を解決するため、昨年度の問題点を踏まえ新たな取組を提案・検証し普及を図るため	今年度の造林事業は、地拵、植付仕様を刈幅6m残幅6mの2条植として実行。大型機械による列間の走行及び下刈作業のデモンストレーションを行い、意見交換を行った。 なお、民有林関係者には、別途資料を送付。 今後の課題は、大型機械での下刈作業方法や大型機械の走行に支障となる伐根対策など、造林作業のコスト縮減、省力化を図るため新たな取組内容等について検討していく。	 <p>大型機械（グラブプル）による下刈作業のデモンストレーション</p>
				自治体	名			
				森林所有者	名			
				事業体	2名			
				研究機関	名			
				その他	名			
				合計	22名			